

総合食料産業技術懇談会を開催



「西条クール・アース プロジェクト」実験施設の視察



イチゴの周年栽培実験



サツキマスの陸上養殖実験

▲「西条クール・アース プロジェクト」の実験施設では、太陽光や地下水などの自然エネルギーや工場排熱を有効活用し、MH冷水製造システムを利用した周年食糧生産実験を行っています。

西条市と(株)西条産業情報支援センター(サイクス)では、農林水産業(1次産業)、製造業(2次産業)、流通業・サービス業(3次産業)が連携した総合産業『6次産業』を創出することによって地域活性化を図るため『食品加工流通コンビナート構想』を打ち出し、平成17年3月に内閣府から地域再生計画の認定を受け、構想の実現化に向けた取り組みを推進しています。

去る9月10日、構想推進の核となる第5回総合食料産業技術懇談会を市役所で開催し、食料産業技術に造詣の深い全国トップクラスの先生方にご参集

いただき、高度かつ専門的な見地から当市の取り組みについてさまざまなご指導・ご提言をいただきました。

懇談会に先がけて、先生方にはイチゴの周年栽培とサツキマスの陸上養殖の実証実験を行っている施設を視察いただきました。

この施設は低環境負荷での食料生産産業の創出をめざし、昨年に経済産業省の「低炭素型社会に向けた技術シーズ発掘・社会システム実証モデル事業」(略称「西条クール・アース プロジェクト」)の委託を受けて整備したもので、先生方は職員の説明を受けながら熱心に視察されていました。

視察後、東京農業大学・山本出名誉教授を座長に懇談会が開催され、先生方から多くのご意見・ご提言や、励ましの言葉を頂戴しました。(左ページで、その一部を紹介しています)

懇談会の翌日は、伊予銀行・愛媛銀行の後援で「総合食料産業技術セミナー」を石鎚山ハイウェイオアシス館で開催し、多くの受講者が出席しました。

セミナーでは、愛媛大学農学部教授の仁科弘重先生と、(株)全国豊かな海づくり推進協会専務理事の市村隆紀先生による講演を行い、仁科先生は「愛媛大学植物工場プロジェクトの進展と国家プロジェクトの動向」、市村先生は「地域連携をどう構築するか——身近に漁や農がある意味——」と題して、それぞれの農業・水産業の立場で先進的事例を交えてご講演いただきました。



▲総合食料産業技術懇談会の様子